

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2021年12月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学研究科電気工学専攻
留学先国	オーストラリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: クイーンズランド工科大学 現地言語: 英語
留学期間	2021年3月～2021年12月
留学した時の学年	修士1年 年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	年 月 日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:3月上旬～6月下旬 2学期:7月下旬～12月上旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	52,511人
創立年	1989年

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料		円	
宿舍費		円	
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:必要単位取得済み)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? なし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Consumer Behaviour	消費者行動学
科目設置学部・研究科	Law
履修期間	Semester 1
単位数	12
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	HS Jin
授業内容	消費者行動学について、基本的だが重要な考え方を学ぶ。 我々の日々の購買行動の分析などを行う。
試験・課題など	中間レポートと期末レポートの 2 つ。それぞれ成績に占めるウェイトは 40%と 60%。
感想を自由記入	講義はとても面白かった。しかし、履修した科目全てに共通することだが、オンラインで受けていたためアクセスできる参考文献は非常に限られており、現地学生と相談することもできなかったため困難なことが非常に多かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business Environment	ビジネス環境
科目設置学部・研究科	Business and Law
履修期間	Semester 1
単位数	12
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Louisa Coglean
授業内容	オーストラリアのみならず、世界中の有名企業の衰退や成長の原因を経営的な視点で学ぶ。
試験・課題など	中間レポートと期末レポートの 2 つ。それぞれの成績に占めるウェイトは 50%と 50%。
感想を自由記入	Uber, IKEA, STARBUCKS など日本人にも馴染みのある企業を成功の実例として学ぶことができ面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Global Business	グローバルビジネス
科目設置学部・研究科	Business and Law
履修期間	Semester 1
単位数	12
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)

授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Alvin Tan
授業内容	自らが事業を営んでいると仮定して、その際のグローバル展開の仕方や、マクロ経済的な内容を学ぶ。
試験・課題など	レポート3つ。
感想を自由記入	学問的には基本的な内容ではあるが、将来会社を経営した際に生きる基礎的な経営視点を学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Economics	経済学
科目設置学部・研究科	Business and Law
履修期間	Semester 2
単位数	12
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Maralyn McDowell
授業内容	ミクロ経済とマクロ経済の基本的な考え方を包括的に学ぶ。需要と供給曲線の考え方」とその応用など。
試験・課題など	小テスト6回、レポート1回、期末テスト。
感想を自由記入	理系出身である私にとっては、履修した中で唯一数値を使うことが多かった授業なので、やりやすかった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

ONE CAREER、外資就活、明治大学のM-career

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

具体的な社名は控えさせていただきますが、業界で言えば総合エンジニアリング業界です。

理由: エンジニアとしてエネルギー関連事業に携わりたいという思いと、自らの語学力を活かせる駐在の機会が多いため。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

オンラインでの留学だったからこそ、日本で就職活動を並行して行うことができた。早期選考ルートに乗り、早い段階(23年卒として、21年の12月)に就活を終えることができたのは、オンライン留学の数少ないメリットの一つ。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

進路に関する情報は、今後留学を考える方の情報として、本報告書の公開のみならず、国際教育センターや就職キャリア支援事務室の関連ホームページや冊子等、留学説明会において、匿名のデータとして公開することがありますので、ご了承下さい。なお、冊子やホームページに公開する前には皆さんに原稿の校正をお願いすることがありますのでご協力お願いいたします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	研究活動
	4月～7月	研究と並行してTOEFLの学習
	8月～9月	学会発表、TOEFL受験
	10月～12月	研究活動
留学開始年	1月～3月	研究活動、留学先の授業開始
	4月～7月	留学先の1学期
	8月～9月	留学先の2学期、就職活動のスタート
	10月～12月	留学終了、内々定
留学/帰国年	1月～3月	研究活動(予定)
	4月～7月	研究活動(予定)
	8月～9月	研究活動(予定)
	10月～12月	研究活動(予定)

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

オーストラリアという温暖な環境とアジア人をはじめとした留学生が比較的多い環境で、日本人でも馴染みやすいと考えたから。コロナ禍により残念ながら現地への渡航は実現できなかったが、並行して就職活動に力を入れることができ、無事第一志望の企業から内々定を頂けたので、結果的に得たものは大きかったと思う。

しかし留学を終えて断言できることは、オンラインでの留学は極めて困難だということ。基本的に授業は分からないことだらけだが（理系でありながら自らの専門ではない経済学や経営学を履修していたからかもしれないが）、現地の図書館に行くことも当然できず、学生との交流も非常に限られるため、単位を取ることは非常に困難だと感じた。幸い、私の場合は留学前に研究以外の必要単位は取得済みで、尚且つ大学院修了の時期を1年遅らせる前提であったため、単位取得に対するプレッシャーは正直無かった。おそらく留学を志す学生は圧倒的に文系学生の方が多いと思うため、単位を振り替えて4年間での卒業を目指す学生は、それなりの覚悟と準備が必要だと考える。

ただ安心してほしいのは、就職活動のエピソードとして、オンラインであろうと留学した経験はかなり有効であると感じた。（なぜ留学を決意したか、そこから何を学び、今後どう生かせるか、といったことは明確かつ具体的に述べられないといけない。）就職活動への影響を気にしている学生は、そこまで不安にならなくてもよいと思う。

いまだにコロナ禍ではあるが、そんな状況下でも留学に挑戦したいという学生には、ぜひ勇敢にチャレンジしてほしい。得るものは必ずあるはずだと私は思う。

状況が改善し、幸運にも現地に渡航することができそうな学生は、一寸の迷いもなく是非留学に挑戦してほしい。私が夢見ていた形での留学が実現するのだから羨ましい限りであるし、それは今後の人生で滅多にない貴重な機会である。